

2006 年度第 1 回日本学生オリエンテーリング連盟幹事会議事録

2006 年 6 月 3 日 (土)

広報部長 高瀬 悠太

1. 自己紹介

省略

2. 新幹事 承認の確認

会計に中條恵介(千葉大2年)が、また会計監査に太田恒平(東大4年)がメーリングリスト(以下 ML)にて承認されたことを確認した。

3. 2006 年度春インカレ 日程及び公式 HP 承認の確認

日程・公式 HP を ML にて承認されたことを確認。

現在地図調査開始中。

要項 1 を早く公表できるようにする。

春インカレのコンセプト「学生・地域と連携して盛り上げていく」

4. 2004 年度第 2 回会計中間報告、2005 年度会計予算の日本学連 HP 掲載 承認の確認

両者共に ML にて承認したことを確認。

5. 大会後援申請の承認

事務局長が翌日の東大大会運営の関係で幹事会に参加できなかったこともあり、申請書が手元になく承認を取れなかった。

翌日の東大大会の会場で承認を取ろうとしたが難しかったので、ML で承認を取るようになった。

印鑑等の確認は事務局長が行い、申請書の内容については ML で流し、全幹事が確認して承認を取るという形式になった。

6. 日本旅行との契約問題

資料「インカレ宿泊輸送における日本旅行との契約問題」参照

● 契約内容と契約期間

日本旅行側から契約書のコピーが入手できた(学連側の契約書は紛失)ので、契約内容について吟味していく。(資料「日本旅行との契約書」及び「日本旅行小林さんより」参照)

現在は契約が自動更新されており、期間については不明瞭(更新前は 5 年契約だった)。

< 契約期間長期化のメリット・デメリット >

メリット：インカレのトレイン探しに日本旅行の協力を求められる(宿等の設備がしっかり整った場所を選定できる)。

デメリット：甘えを生む。

両者で話し合い、明確にする(1~5年の間にできるはず)。

● 業務の改善について

改善要望という形で要望書を提出し、日本旅行側に対策を取らせる(対策を学連側が提案すると、失敗した場合、学連側の責任となるので)。

要望書の内容：

昨年度のインカレについての要望をメインに、各地区学連から汲み上げていく(矢板インカレに反映させるためにはもう時間がないので、印象に残っているものに絞る)。形式については資料「インカレ輸送に関する緊急アンケート」参照。

提出までの流れ(予定)：

要望の〆切(6/20) 要望のまとめ(6/23) 修正・チェック 提出(6/30)

● 宿泊料金の格差について(資料「春インカレの宿泊輸送の自由化及び料金体系の弾力化について」参照)

宿泊料金については、学連側から料金の統一化を依頼していたので、格差をつけることは実際に可能。

格差をつける際の問題点：

- ・ 格差の実現可能な許容範囲 上のアンケートで格差についても意見を集める。
- ・ 宿の決め方 シミュレーションを行ってみる(上の資料にシミュレーションのイメージも載っています)。

シミュレーションについて：

矢板インカレで格差をつけるとどうなるかを資料として日本旅行側から提出してもらい、シミュレーションの細かい内容を考える。9月総会で提案し、3月総会で結果の報告を行う。

要望書に関しては矢板春インカレから、料金格差に関しては来年度のインカレで反映できることをそれぞれ目指す。また、長期的なものになると思われるので、要望書の取りまとめ及び契約に関しては太田会計監査を中心としたチームで、格差のシミュレーションについては荒川事業部長を中心としたチームで対応していく。

7 . 日本学連 HP の管理

必要だと思われるコンテンツ(各部署のページ等)はどんどん作っていった方が良い。

各部長が HP 作成・編集に関与しやすいようにする。

小山温史(東工大3年)が学生側の HP 管理担当者をやることになった。が、広報アドバイザーの坂本さんより一人でやるのは大変という話が出ており、管理体制についてもう少し検討中。

8 . 日本学連加盟登録期限の変更

今年のインカレロング(ICL)が例年よりも早く行われるので、それに伴いエントリーの期限を変更することになった。

例年

ICL開催 11月中旬 ICLのための加盟登録期限 10月31日

今年案

ICL開催9月中旬 ICLのための加盟登録期限8月31日
追加登録については例年通り。

期限を早めることについて承認された。

9. 日本学連のコントローラー派遣について

公認大会：JOAからコントローラーが派遣されてくる

公認大会以外(学生大会等)：運営者達でコントローラーの有無・質を決める

「学連加盟校が大会を開く場合、コントローラーを置くことを推奨して大会のレベルを保とう」というのがきっかけで、学連(技委)がコントローラー派遣を援助する制度が作られた。その際に、何も補助を出さずにコントローラーを置けと言うのでは浸透しないだろうとのことで技術委員会予算として補助費用を立てた(1大会最大1万まで、予算3万)。

制度について：

コントローラーをつけようと思っても、運営陣の人脈だけでは見つけれない可能性もあるので、派遣制度があることは問題ない。

今後も派遣制度を続ける。

補助金について：

現在では大会にコントローラーをつけることが十分に浸透しているので、補助金を出す必要は無いと判断(今後は運営側で費用を出すようにしてもらう)。

来年度以降開催の大会からはコントローラー派遣の補助金は出さない(今年度開催のものに關しては出す)。

10. 下野インカレの決算報告

資料「2001年度インカレ実行委員会会計報告書」参照

約270万の黒字が出た。地図代の請求今年の春に来たので、ようやく決算できた。

決算が遅れたことについて、理由などを明確化した謝罪文を総会で提出してもらうことになった。

11. 下野軌道の知的所有権の有償譲渡について

資料「下野軌道の知的所有権の有償譲渡について」参照

2001春インカレ実行委員会側から、作成マップの原図提供代10万円を支払うことを確認。

提供代+手数料を引いた分を再度会計報告書として提出してもらう。

12. 愛知インカレの地図代の清算について

資料「愛知インカレの地図代の精算」参照

地図代1枚900円 赤字約200万円

問題点：

1、赤字の原因(地図代のせい、参加費設定が甘かったからか、予算の使い方が悪かったのか等)

2、払うか払わないか(予算を幹事会で承認したわけでない、素直に払いがたい)

以下の3点について納得できる内容が提示されれば支払いに応じる(6/16までに地図代を支

払えない可能性もある)。

- ・地図代の料金構造などについての説明
- ・予算、仮決算の提出及び仮決算にサインした理由の説明
- ・学連側へのメリット(次回愛知でインカレを行うときに地図代を安くしてもらおう、練習会の際に安値で地図を提供など)の提示

13. 学連地図データ借用について

実行委員会側からの要望

1、地図データからトレイル用地図作成・修正をすること(修正したデータ及び著作権は学連に無償で提供)

2、地図データの使用料を無料で提供して欲しいこと(地図代として印刷枚数×200円は支払う)

お金が入り、更に新マップも手に入るということで、上の2点に関して承認された。

● 新マップの取り扱い(値段)について

・作成されるのがトレイル用ということで、旧マップとどこまで価値的にぶつかるかがよく分からない。

・在庫処理(約2300枚)をどうするか。

新マップの価値についてもう少し具体的な情報が入ってから再度検討することになった。

14. インカレ進捗状況

● 2006年度インカレロング(駒ヶ根)

HPの承認をした公開。会場を確保した。宿泊場所に関してはなるべく安いところを押さえるが、最終的には早いもの勝ちで取ってもらうことになりそう。

● 2007年度インカレロング(加賀海岸)

来年度のインカレロング開催地が白紙に戻った(経緯などについては資料「インカレ進捗状況」参照)。現在、候補地の選定中。

15. 後夜祭・講習会に関するアンケートについて

資料「後夜祭・講習会の改善案について」参照

普及部と連携して交流・推進・宣伝を行っていく。また、今年度は春インカレが首都圏ということで、講習会を1泊2日にして参加者を増やすことも検討中。8月幹事会で最終決定、11月頃から順次公開を目指す。

16. 2006年度新入生勧誘に関するアンケート

現在、アンケート集計中。

17. 理事会報告

● 理事会について

資料「理事会報告」参照

- **全日本大会(矢板)の地図についての契約・決済の状況**

資料「2005年度全日本地図契約に関する状況説明」参照

- **インカレ会計のやり方の見直し**

議題12を踏まえて、今までの「地図作りもインカレ経費に含む」というのを見直し(場所によってかかる経費に格差がある)、一定金額を地図代としてプールしていくという方針に変えていく。

18. 技術委員会報告

東北で地図講習会を開催した。今年度中にもう一度講習会を行う予定(JOAと共同かもしれない)。学連合宿のコンセプト(上を目指す人向け等)を明確化して、人を集めやすくしていく。第1回は7月にユニバ合宿と合同で行う予定。

19. 地区学連活動報告及び今後の活動予定

【北東学連】

6月4日 東大大会にて第1回ロングセレ
8月 夏合宿(2日目に第2回ロングセレ)

【北信越学連】

3月13日 学連総会
4月2日 金沢大大会
4月16日 新潟大大会
6月4日 東大大会にてロングセレ
7月 交流会

【関東学連】

一月に一度総会を開いている
5月14日 新歓ペア0(天覧山)
5月20日 総会
6月18日 ロングセレ(りんごの里)
10月 新人戦

【東海学連】

3月20日 05年度第3回東海学連総会
5月27日 新歓ペア0
以下予定
6月25日 東海インカレ(ロングセレクション)
8月26・27日 夏合宿(2日間 or この土日を含んだ3日間)
8月 夏合宿1日目(25 or 26日) 第1回東海学連総会

【関西学連】

4月23日 第一回関西学連総会(京都市立修学院中学校)
・院生のインカレ参加を認めるかどうか
・日本旅行へ対する意見要望
5月14日 第一回定例戦(太陽ヶ丘)

5月21日 第二回関西学連総会（京都市立第三錦林小学校）

・前回話し合った内容のまとめ

・各部報告

5月27、28日 新歓合宿（高山）

【中九四学連】

4月23日（日）インカレロングセレクション（北九州）

5月20日（土）新歓OL（常盤湖）

8月18～21 合宿（静岡）

20．各部署報告

【会計】

特になし

【事業部】

後夜祭・講習会に関するアンケートの集計

【広報部】

HPの更新

広報誌「いぶき」の内容や議事録の載せ方を工夫していく

普及部や事業部と連携していきたい

【普及部】

新歓アンケート集計中

インカレ参加人数を増やすためにいくつか試みを行う予定

OLの宣伝、指導や説明のマニュアル作成も試みる

【事務局】

5m×60cmの新しい横断幕を購入した

各種販売を行った

21．その他

副幹事長に関東学連代表幹事の奥田雄彦が選出された。

矢板地区の地図の値段が、A4:350円・B4:400円(ジェネシスマッピングへの委託費込)に決定したので、HPの地図販売の所に矢板のマップ情報を載せていく。

第1回日本学連総会はインカレロングの夜(9/17)に行う予定。

22．次回幹事会の日程

米本路憲君追悼大会初日(8/5)、矢板近辺で行う予定。